

# かがわ里海大学

## 1 里海学びの講座

### ○初日

5月13日(金曜日)、かがわ里海大学の最初の講座である「里海学びの講座」が始まりました。  
(場所：香川大学研究交流棟6階第一講義室)

かがわ里海大学学長の浜田知事からの挨拶に続いて、増田拓朗香川大学名誉教授の「森と海のつながり」と題しての講義がありました。1. 森と海のつながり 2. 海における物質生産 3. 森林のもつ水土保全機能についてお話があり、38人の受講生が熱心に聴講していました。



講義の様子(増田拓朗香川大学名誉教授)

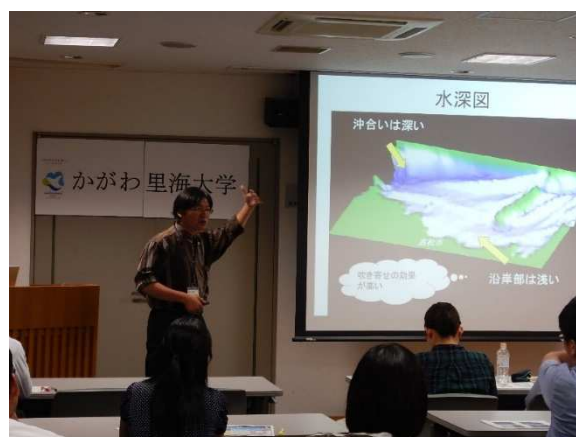


かがわ里海大学学長挨拶

### ○2日目

5月27日(金曜日)に「里海学びの講座」の2日目が開催されました。(場所：香川大学研究交流棟5階研究者交流スペース)

34人が参加し、末永慶寛香川大学工学部教授から、「海のこと」と題した講義で「潮の流れ」を中心に海における生態系、事故、災害について学びました。また、先生の研究する魚類廃棄物のリサイクルについてのお話も伺いました。



講義の様子(末永慶寛香川大学工学部教授)

### ○3日目

6月11日(土曜日)、今回は座学ではなく、フィールドに出て、漂着物の分析とお宝探しを体験しました。

会場は、坂出市万葉会館と沙弥海水浴場、22人が参加し、森田桂治特定非営利活動法人アーキペラゴ副理事長から、「里海体験」と題した講義がありました。万葉会館での海ごみの話や講

師がこれまで集めたお宝（海ごみ）の紹介の後、受講生はグループに分かれて、ビーチで漂着物の分析とお宝探し及びビーチクリーンアップを行いました。カキ養殖用まめ管や釣り具など廃プラスチックが多く漂着していました。また、佐賀県の石油店の住所がプリントされた使い捨てライターなども発見されました。



お宝（海ごみ）紹介  
(森田桂治NPO法人アーキペラゴ副理事長)



沙弥海水浴場でのお宝探し



講義の様子

#### ○4日目

6月24日(金曜日)に「里海学びの講座」の4日目(最終日)の講義として、瀬戸内海歴史民俗資料館田井静明館長から「里海 瀬戸内海 海との暮らし」と題して講義がありました。(場所：香川大学研究交流棟5階研究者交流スペース)

31人が参加し、「昔の人々の海岸漂着物等の取り扱い」や「漁具やヤマアテなど漁業を中心とした里海の暮らし」など先人の海とのかかわり方等について学びました。

4日目の講義後、修了者に対して修了証が交付されました。



講義の様子  
(田井静明瀬戸内海歴史民俗史料館館長)